

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	約10年間（2012年5月30日～2022年5月27日）	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	ベビーファンド	ダイワ米国厳選株マザーファンドの受益証券
	ダイワ米国厳選株マザーファンド	米国の金融商品取引所上場株式および店頭登録株式（上場予定および店頭登録予定を含みます。また、DR（預託証券）を含みます。）
マザーファンドの運用方法	<p>①主として、米国の株式（※）の中から、割安と判断される銘柄を厳選して集中投資することにより信託財産の成長をめざします。</p> <p>※当ファンドにおける米国の株式とは、米国の金融商品取引所上場株式および店頭登録株式（上場予定および店頭登録予定を含みます。また、DR（預託証券）を含みます。）をいいます。</p> <p>②以下の方針を基本として運用を行ないます。</p> <p>イ. 米国の株式の中から流動性等を勘案し、投資対象銘柄を選定します。</p> <p>ロ. 投資対象銘柄から、個別企業の経営戦略、業績動向および株価バリュエーション等を考慮し、調査対象銘柄を決定します。</p> <p>ハ. 調査対象銘柄に対して企業訪問による調査や綿密な財務分析等を行ない、株式の本源的価値（※）と比較して割安と判断される銘柄を組入候補銘柄とします。</p> <p>※株式の本源的価値とは、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーが独自に評価した企業本来の価値をいいます。</p> <p>ニ. 組入候補銘柄から銘柄を厳選し、ポートフォリオを構築します。</p> <p>③外貨建資産の運用にあたっては、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーに運用の指図にかかる権限を委託します。</p> <p>④株式の組入比率は、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。</p> <p>⑤為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。</p> <p>※ベビーファンド「Aコース（為替ヘッジあり）」においては、保有実質外貨建資産について、為替変動リスクの低減のために、為替ヘッジを行ないます。</p>	
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率	無制限
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。	

当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行ないます。ファミリーファンド方式とは、受益者からの資金をまとめてベビーファンド（当ファンド）とし、その資金を主としてマザーファンドの受益証券に投資して、実質的な運用をマザーファンドで行なう仕組みです。

ダイワ米国厳選株ファンド ーイーグルアイー

Aコース（為替ヘッジあり） Bコース（為替ヘッジなし）

運用報告書（全体版） 第12期

（決算日 2018年5月28日）

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「ダイワ米国厳選株ファンド ーイーグルアイー」は、このたび、第12期の決算を行ないました。

ここに、期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先（コールセンター）

TEL 0120-106212
（営業日の9:00～17:00）

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

<3847>
<3848>

Aコース (為替ヘッジあり)

最近5期の運用実績

決算期	基準価額			S & P 500種株価指数 (米ドルベース)		株式組入 比率	株式先物 比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
8期末 (2016年5月30日)	9,640	0	△ 3.5	15,754	0.4	93.6	—	1,768
9期末 (2016年11月28日)	10,789	0	11.9	16,612	5.4	91.9	—	1,682
10期末 (2017年5月29日)	11,128	800	10.6	18,131	9.1	91.4	—	2,708
11期末 (2017年11月28日)	11,459	200	4.8	19,524	7.7	89.5	—	1,843
12期末 (2018年5月28日)	11,520	50	1.0	20,424	4.6	92.6	—	1,473

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P 500種株価指数 (米ドルベース) は、S & P 500種株価指数 (米ドルベース) の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。S & P 500種株価指数 (米ドルベース) の所有権およびその他一切の権利は、S & P Dow Jones Indices LLC が有しています。S & P Dow Jones Indices LLC は、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

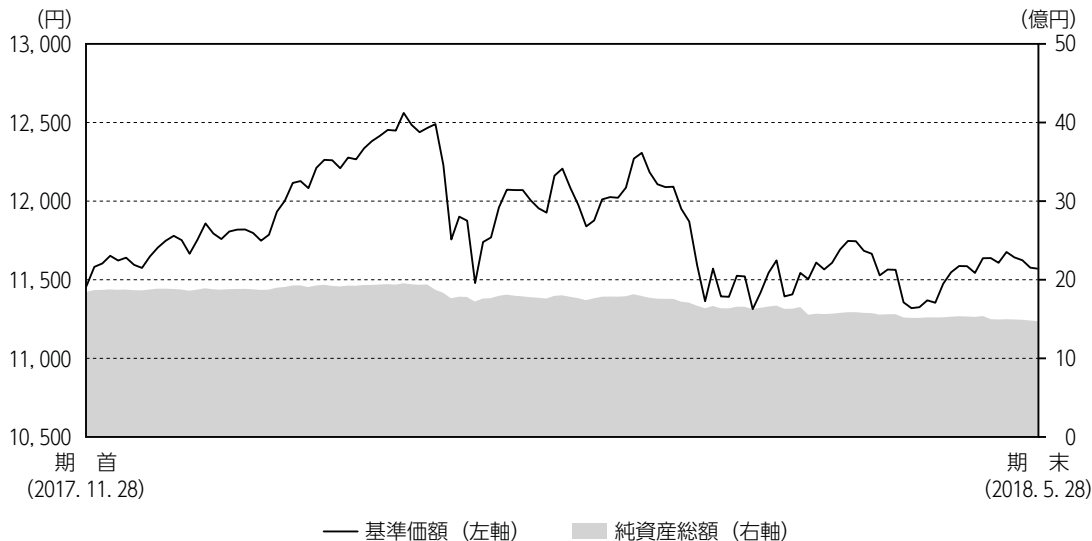
(注4) 株式および株式先物の組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注5) 株式先物比率は買建比率 - 売建比率です。



運用経過

基準価額等の推移について



(注) 期末の基準価額は分配金込みです。

■ 基準価額・騰落率

期首：11,459円

期末：11,520円 (分配金50円)

騰落率：1.0% (分配金込み)

■ 基準価額の主な変動要因

米国株式市況が上昇したことなどがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ米国厳選株ファンド -イーグルアイ- Aコース (為替ヘッジあり)

年 月 日	基 準 価 額		S & P 500種株価指数 (米ドルベース)		株 式 組 入 率 株 比	株 式 先 物 率 株 比
		騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
(期首) 2017年11月28日	円	%		%	%	%
	11,459	—	19,524	—	89.5	—
11月末	11,603	1.3	19,709	0.9	89.8	—
12月末	11,786	2.9	20,170	3.3	92.2	—
2018年1月末	12,438	8.5	21,183	8.5	91.4	—
2月末	12,084	5.5	20,596	5.5	93.0	—
3月末	11,525	0.6	19,820	1.5	96.9	—
4月末	11,563	0.9	20,016	2.5	95.4	—
(期末) 2018年5月28日	11,570	1.0	20,424	4.6	92.6	—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2017. 11. 29 ~ 2018. 5. 28)

米国株式市況

米国株式市況は、米国の税制改革法案成立への期待や堅調な経済指標の発表などが支援材料となり、期首から2018年1月下旬にかけて上昇しました。その後、米国の雇用統計が市場予想を上回り米国金利が上昇したことで、市場のリスク回避姿勢が強まり、2月中旬にかけて調整しました。期末にかけては、米国の利上げペースや米中の貿易摩擦をめぐる動向などに左右されながら、一進一退の推移となりました。

前期における「今後の運用方針」**当ファンド**

「ダイワ米国厳選株マザーファンド」の受益証券を通じて、米国の株式の中から、割安と判断される銘柄を厳選して集中投資することにより、信託財産の成長をめざして運用を行ないます。また、保有実質外貨建資産について、為替変動リスクの低減のために為替ヘッジを行ないます。

ダイワ米国厳選株マザーファンド

外貨建資産の運用にあたっては、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーに運用の指図にかかる権限を委託し、今後の運用を行なってまいります。ボトムアップによる企業リサーチをもとに、財務内容が強固であり、経営陣が有能で、長期的にキャッシュフロー成長が見込まれる企業の中から、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている銘柄に厳選投資していきます。引き続き、一時的な株価調整局面は企業の本源的価値に対して割安な水準で投資する機会と捉え、短期的な損益ではなく、長期投資のリターンを追求していきます。

ポートフォリオについて

(2017. 11. 29 ~ 2018. 5. 28)

■当ファンド

「ダイワ米国厳選株マザーファンド」の受益証券に投資しました。また、保有実質外貨建資産について、為替変動リスクの低減のために、為替ヘッジを行ないました。

■ダイワ米国厳選株マザーファンド

当ファンドは、外貨建資産の運用にあたって、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーに運用の指図にかかる権限を委託しております。

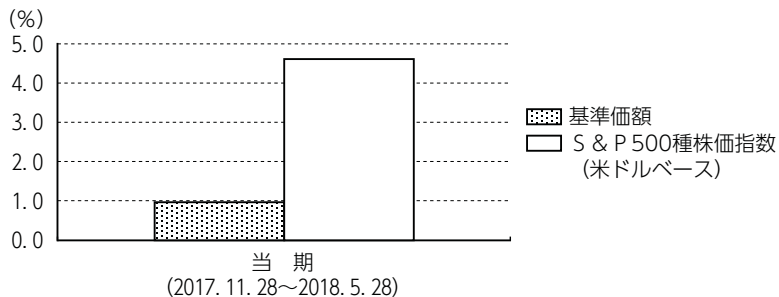
当期の株式組入比率は、おおむね90%以上の高位を維持しました。

銘柄選択にあたって、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーでは、独自に算出する投資対象企業の本源的価値と比較して著しく割安な銘柄に厳選投資することを基本方針としています。財務内容が健全であり、経営陣の質が高く、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている企業に厳選投資しました。セクター別では、金融、一般消費財・サービスを高位で組み入れました。銘柄別では、HCA HEALTHCARE (ヘルスケア)、CHARTER COMMUNICATIONS (一般消費財・サービス)、ALPHABET (情報技術)などを高位で組み入れました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当期の1万口当り分配金(税込み)は50円といたしました。

収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程(1万口当り)」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳(1万口当り)

項 目	当期	
	2017年11月29日 ～2018年5月28日	
当期分配金(税込み) (円)	50	
対基準価額比率 (%)	0.43	
当期の収益 (円)	50	
当期の収益以外 (円)	—	
翌期繰越分配対象額 (円)	1,520	

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売却等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金(税込み)に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

収益分配金の計算過程(1万口当り)

項 目	当期
(a) 経費控除後の配当等収益	24.15円
(b) 経費控除後の有価証券売却等損益	80.36
(c) 収益調整金	949.59
(d) 分配準備積立金	516.04
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	1,570.15
(f) 分配金	50.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e-f)	1,520.15

(注) 下線を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

当ファンド

「ダイワ米国厳選株マザーファンド」の受益証券を通じて、米国の株式の中から、割安と判断される銘柄を厳選して集中投資することにより、信託財産の成長をめざして運用を行ないます。また、保有実質外貨建資産について、為替変動リスクの低減のために為替ヘッジを行ないます。

ダイワ米国厳選株マザーファンド

外貨建資産の運用にあたっては、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーに運用の指図にかかる権限を委託し、今後の運用を行なってまいります。ボトムアップによる企業リサーチをもとに、財務内容が強固であり、経営陣が有能で、長期的にキャッシュフロー成長が見込まれる企業の中から、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている銘柄に厳選投資していきます。引き続き、一時的な株価調整局面は企業の本源的価値に対して割安な水準で投資する機会と捉え、短期的な損益ではなく、長期投資のリターンを追求していきます。

1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2017. 11. 29~2018. 5. 28)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	110円	0.926%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は11,826円です。
(投信会社)	(62)	(0.525)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
(販売会社)	(44)	(0.375)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託銀行)	(3)	(0.027)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	2	0.015	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(2)	(0.015)	
有価証券取引税	0	0.001	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(0)	(0.001)	
そ の 他 費 用	1	0.011	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(保管費用)	(1)	(0.008)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	113	0.953	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2017年11月29日から2018年5月28日まで)

	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ米国厳選株 マザーファンド	19,816	62,000	140,125	437,000

(注) 単位未満は切捨て。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2017年11月29日から2018年5月28日まで)

項 目	当 期
	ダイワ米国厳選株マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	7,980,763千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	10,071,920千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.79

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

当期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ米国厳選株 マザーファンド	590,663	470,354	1,457,252

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2018年5月28日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ダイワ米国厳選株マザーファンド	1,457,252	96.9
コール・ローン等、その他	47,190	3.1
投資信託財産総額	1,504,443	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、5月28日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=109.53円です。

(注3) ダイワ米国厳選株マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(10,310,553千円)の投資信託財産総額(10,499,254千円)に対する比率は、98.2%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2018年5月28日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	2,922,489,518円
コール・ローン等	43,190,511
ダイワ米国厳選株 マザーファンド(評価額)	1,457,252,507
未収入金	1,422,046,500
(B) 負債	1,448,834,533
未払金	1,421,839,170
未払収益分配金	6,395,985
未払解約金	4,376,297
未払信託報酬	16,174,515
その他未払費用	48,566
(C) 純資産総額(A-B)	1,473,654,985
元本	1,279,197,125
次期繰越損益金	194,457,860
(D) 受益権総口数	1,279,197,125口
1万口当り基準価額(C/D)	11,520円

*期首における元本額は1,608,774,727円、当期中における追加設定元本額は28,726,149円、同解約元本額は358,303,751円です。

*当期末の計算口数当りの純資産額は11,520円です。

■損益の状況

当期 自2017年11月29日 至2018年5月28日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 3,831円
受取利息	532
支払利息	△ 4,363
(B) 有価証券売買損益	29,597,583
売買益	125,348,996
売買損	△ 95,751,413
(C) 信託報酬等	△ 16,223,628
(D) 当期損益金(A+B+C)	13,370,124
(E) 前期繰越損益金	66,012,409
(F) 追加信託差損益金	121,471,312
(配当等相当額)	(80,520,520)
(売買損益相当額)	(40,950,792)
(G) 合計(D+E+F)	200,853,845
(H) 収益分配金	△ 6,395,985
次期繰越損益金(G+H)	194,457,860
追加信託差損益金	121,471,312
(配当等相当額)	(80,520,520)
(売買損益相当額)	(40,950,792)
分配準備積立金	72,986,548

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は9ページの「収益分配金の計算過程(総額)」の表をご参照ください。

(注4) 投資信託財産(親投資信託)の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用:4,962,870円(未監査)

■収益分配金の計算過程 (総額)

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	3,090,089円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	10,280,035
(c) 収益調整金	121,471,312
(d) 分配準備積立金	66,012,409
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	200,853,845
(f) 分配金	6,395,985
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	194,457,860
(h) 受益権総口数	1,279,197,125口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ	
1 万 口 当 り 分 配 金	50円

●<分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、5月28日現在の基準価額（1万口当り11,520円）に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

Bコース (為替ヘッジなし)

最近 5 期の運用実績

決算期	基準価額			S & P 500種株価指数 (円換算)		株式組入 比率	株式先物 比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
8 期末 (2016年 5 月30日)	8,992	0	△ 12.4	21,940	△ 9.5	93.0	—	4,324
9 期末 (2016年11月28日)	10,226	0	13.7	23,450	6.9	92.6	—	4,602
10期末 (2017年 5 月29日)	11,322	0	10.7	25,389	8.3	93.5	—	6,818
11期末 (2017年11月28日)	11,612	300	5.2	27,257	7.4	90.5	—	4,395
12期末 (2018年 5 月28日)	11,662	50	0.9	28,135	3.2	93.4	—	4,110

(注 1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注 2) S & P 500種株価指数 (円換算) は、S & P 500種株価指数 (米ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。S & P 500種株価指数 (米ドルベース) の所有権およびその他一切の権利は、S & P Dow Jones Indices LLC が有しています。S & P Dow Jones Indices LLC は、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注 3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

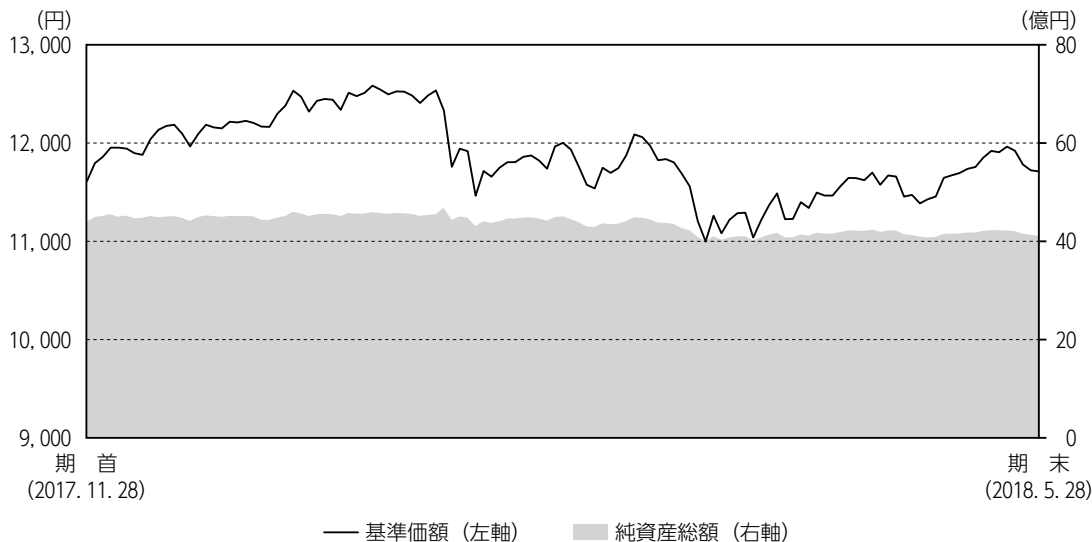
(注 4) 株式および株式先物の組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注 5) 株式先物比率は買建比率 - 売建比率です。



運用経過

基準価額等の推移について



(注) 期末の基準価額は分配金込みです。

■ 基準価額・騰落率

期首：11,612円

期末：11,662円 (分配金50円)

騰落率：0.9% (分配金込み)

■ 基準価額の主な変動要因

米国株式市況が上昇したことなどがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ米国厳選株ファンド -イーグルアイ- Bコース (為替ヘッジなし)

年 月 日	基 準 価 額		S & P 500種株価指数 (円換算)		株 式 組 入 率 株 比	株 式 先 物 率 株 比
		騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
(期首) 2017年11月28日	円	%		%	%	%
	11,612	—	27,257	—	90.5	—
11月末	11,860	2.1	27,775	1.9	90.7	—
12月末	12,164	4.8	28,666	5.2	92.3	—
2018年1月末	12,407	6.8	28,983	6.3	93.3	—
2月末	11,934	2.8	27,813	2.0	93.5	—
3月末	11,286	△ 2.8	26,483	△ 2.8	97.1	—
4月末	11,659	0.4	27,528	1.0	94.9	—
(期末) 2018年5月28日	11,712	0.9	28,135	3.2	93.4	—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2017. 11. 29 ~ 2018. 5. 28)

■ 米国株式市況

米国株式市況は、米国の税制改革法案成立への期待や堅調な経済指標の発表などが支援材料となり、期首から2018年1月下旬にかけて上昇しました。その後、米国の雇用統計が市場予想を上回り米国金利が上昇したことで、市場のリスク回避姿勢が強まり、2月中旬にかけて調整しました。期末にかけては、米国の利上げペースや米中の貿易摩擦をめぐる動向などに左右されながら、一進一退の推移となりました。

■ 為替相場

米ドルは対円で下落しました。

米国の税制改革法案成立への期待などから上昇する局面も見られましたが、米国長期金利の上昇を受けて株価が下落する中で市場のリスク回避姿勢が強まったことや、米中の貿易摩擦への懸念などが米ドル対円相場の下落要因となりました。

前期における「今後の運用方針」

■ 当ファンド

「ダイワ米国厳選株マザーファンド」の受益証券を通じて、米国の株式の中から、割安と判断される銘柄を厳選して集中投資することにより、信託財産の成長をめざして運用を行ないます。

■ ダイワ米国厳選株マザーファンド

外貨建資産の運用にあたっては、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーに運用の指図にかかる権限を委託し、今後の運用を行なってまいります。ボトムアップによる企業リサーチをもとに、財務内容が強固であり、経営陣が有能で、長期的にキャッシュフロー成長が見込まれる企業の中から、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている銘柄に厳選投資していきます。引き続き、一時的な株価調整局面は企業の本源的価値に対して割安な水準で投資する機会と捉え、短期的な損益ではなく、長期投資のリターンを追求していきます。

ポートフォリオについて

(2017. 11. 29 ~ 2018. 5. 28)

当ファンド

「ダイワ米国厳選株マザーファンド」の受益証券に投資しました。

ダイワ米国厳選株マザーファンド

当ファンドは、外貨建資産の運用にあたって、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーに運用の指図にかかる権限を委託しております。

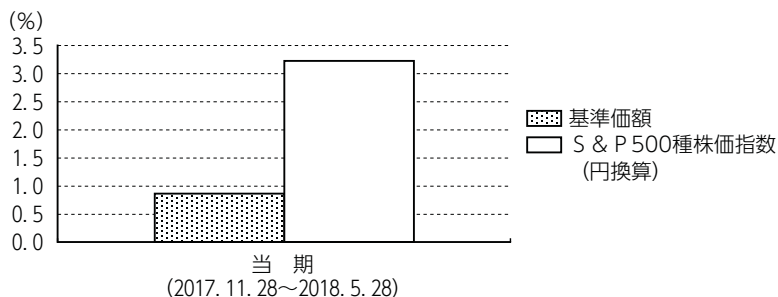
当期の株式組入比率は、おおむね90%以上の高位を維持しました。

銘柄選択にあたって、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーでは、独自に算出する投資対象企業の本源的価値と比較して著しく割安な銘柄に厳選投資することを基本方針としています。財務内容が健全であり、経営陣の質が高く、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている企業に厳選投資しました。セクター別では、金融、一般消費財・サービスを高位で組み入れました。銘柄別では、HCA HEALTHCARE (ヘルスケア)、CHARTER COMMUNICATIONS (一般消費財・サービス)、ALPHABET (情報技術)などを高位で組み入れました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当期の1万口当り分配金(税込み)は50円といたしました。

収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程(1万口当り)」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳(1万口当り)

項目	当期	
	2017年11月29日 ~2018年5月28日	
当期分配金(税込み)	(円)	50
対基準価額比率	(%)	0.43
当期の収益	(円)	30
当期の収益以外	(円)	19
翌期繰越分配対象額	(円)	1,662

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金(税込み)に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

収益分配金の計算過程(1万口当り)

項目	当期
(a) 経費控除後の配当等収益	11.40円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	19.07
(c) 収益調整金	1,026.04
(d) 分配準備積立金	655.91
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	1,712.44
(f) 分配金	50.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e-f)	1,662.44

(注) 下線を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

当ファンド

「ダイワ米国厳選株マザーファンド」の受益証券を通じて、米国の株式の中から、割安と判断される銘柄を厳選して集中投資することにより、信託財産の成長をめざして運用を行ないます。

ダイワ米国厳選株マザーファンド

外貨建資産の運用にあたっては、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーに運用の指図にかかる権限を委託し、今後の運用を行なってまいります。ボトムアップによる企業リサーチをもとに、財務内容が強固であり、経営陣が有能で、長期的にキャッシュフロー成長が見込まれる企業の中から、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている銘柄に厳選投資していきます。引き続き、一時的な株価調整局面は企業の本源的価値に対して割安な水準で投資する機会と捉え、短期的な損益ではなく、長期投資のリターンを追求していきます。

1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2017. 11. 29~2018. 5. 28)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	110円	0.926%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は11,867円です。
(投信会社)	(62)	(0.525)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
(販売会社)	(44)	(0.375)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託銀行)	(3)	(0.027)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	2	0.015	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(2)	(0.015)	
有価証券取引税	0	0.001	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(0)	(0.001)	
そ の 他 費 用	1	0.011	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(保管費用)	(1)	(0.008)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	113	0.953	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含まず。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

ダイワ米国厳選株ファンド -イーグルアイ- Bコース (為替ヘッジなし)

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2017年11月29日から2018年5月28日まで)

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ米国厳選株 マザーファンド	100,182	320,000	200,280	627,000

(注) 単位未満は切捨て。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2017年11月29日から2018年5月28日まで)

項 目	当 期
	ダイワ米国厳選株マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	7,980,763千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	10,071,920千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.79

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

当期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ米国厳選株 マザーファンド	1,423,042	1,322,944	4,098,746

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2018年5月28日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ダイワ米国厳選株マザーファンド	4,098,746	98.3
コール・ローン等、その他	71,518	1.7
投資信託財産総額	4,170,264	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、5月28日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=109.53円です。

(注3) ダイワ米国厳選株マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(10,310,553千円)の投資信託財産総額(10,499,254千円)に対する比率は、98.2%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2018年5月28日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	4,170,264,850円
コール・ローン等	71,518,349
ダイワ米国厳選株 マザーファンド (評価額)	4,098,746,501
(B) 負債	59,650,866
未払収益分配金	17,623,297
未払解約金	1,564,046
未払信託報酬	40,343,931
その他未払費用	119,592
(C) 純資産総額 (A - B)	4,110,613,984
元本	3,524,659,552
次期繰越損益金	585,954,432
(D) 受益権総口数	3,524,659,552口
1万口当り基準価額 (C / D)	11,662円

* 期首における元本額は3,785,656,961円、当期中における追加設定元本額は430,213,208円、同解約元本額は691,210,617円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は11,662円です。

■損益の状況

当期 自2017年11月29日 至2018年5月28日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 10,463円
受取利息	862
支払利息	△ 11,325
(B) 有価証券売買損益	51,219,292
売買益	77,663,907
売買損	△ 26,444,615
(C) 信託報酬等	△ 40,465,330
(D) 当期損益金 (A + B + C)	10,743,499
(E) 前期繰越損益金	231,188,758
(F) 追加信託差損益金	361,645,472
(配当等相当額)	(280,127,033)
(売買損益相当額)	(81,518,439)
(G) 合計 (D + E + F)	603,577,729
(H) 収益分配金	△ 17,623,297
次期繰越損益金 (G + H)	585,954,432
追加信託差損益金	361,645,472
(配当等相当額)	(280,127,033)
(売買損益相当額)	(81,518,439)
分配準備積立金	224,308,960

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は18ページの「収益分配金の計算過程 (総額)」の表をご参照ください。

(注4) 投資信託財産 (親投資信託) の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用: 12,457,922円 (未監査)

■収益分配金の計算過程 (総額)

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	4,018,838円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	6,724,661
(c) 収益調整金	361,645,472
(d) 分配準備積立金	231,188,758
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	603,577,729
(f) 分配金	17,623,297
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	585,954,432
(h) 受益権総口数	3,524,659,552口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ	
1 万 口 当 り 分 配 金	50円

●<分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、5月28日現在の基準価額（1万口当り11,662円）に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

ダイワ米国厳選株マザーファンド

運用報告書 第12期 (決算日 2018年5月28日)

(計算期間 2017年11月29日～2018年5月28日)

ダイワ米国厳選株マザーファンドの第12期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	米国の金融商品取引所上場株式および店頭登録株式（上場予定および店頭登録予定を含みません。また、DR（預託証券）を含みません。）
運用方法	<p>①主として、米国の株式（※）の中から、割安と判断される銘柄を厳選して集中投資することにより信託財産の成長をめざします。</p> <p>※当ファンドにおける米国の株式とは、米国の金融商品取引所上場株式および店頭登録株式（上場予定および店頭登録予定を含みます。また、DR（預託証券）を含みます。）をいいます。</p> <p>②以下の方針を基本として運用を行ないます。</p> <p>イ. 米国の株式の中から流動性等を勘案し、投資対象銘柄を選定します。</p> <p>ロ. 投資対象銘柄から、個別企業の経営戦略、業績動向および株価バリュエーション等を考慮し、調査対象銘柄を決定します。</p> <p>ハ. 調査対象銘柄に対して企業訪問による調査や綿密な財務分析等を行ない、株式の本源的価値（※）と比較して割安と判断される銘柄を組入候補銘柄とします。</p> <p>※株式の本源的価値とは、ハリス・アソシエーツ・エル・ピーが独自に評価した企業本来の価値をいいます。</p> <p>ニ. 組入候補銘柄から銘柄を厳選し、ポートフォリオを構築します。</p> <p>③外貨建資産の運用にあたっては、ハリス・アソシエーツ・エル・ピーに運用の指図にかかる権限を委託します。</p> <p>④株式の組入比率は、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。</p> <p>⑤為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。</p>
株式組入制限	無制限

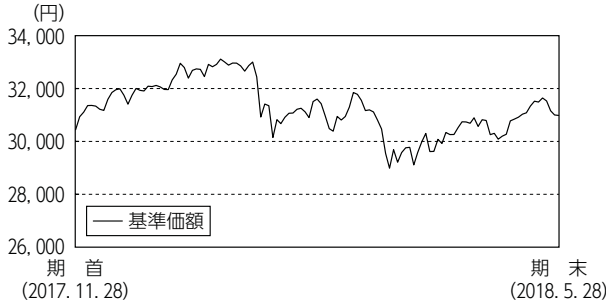
大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■当期中の基準価額と市況の推移



年 月 日	基準価額		S & P 500種株価指数 (円換算)		株式組入 比率	株式先物 比率
	円	%	(参考指数)	騰落率		
(期首) 2017年11月28日	30,441	—	27,257	—	91.8	—
11月末	31,108	2.2	27,775	1.9	91.2	—
12月末	31,960	5.0	28,666	5.2	92.8	—
2018年1月末	32,659	7.3	28,983	6.3	93.7	—
2月末	31,427	3.2	27,813	2.0	93.9	—
3月末	29,758	△ 2.2	26,483	△ 2.8	97.5	—
4月末	30,792	1.2	27,528	1.0	95.3	—
(期末) 2018年5月28日	30,982	1.8	28,135	3.2	93.6	—

(注1) 騰落率は期首比。
 (注2) S & P 500種株価指数(円換算)は、S & P 500種株価指数(米ドルベース)をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。S & P 500種株価指数(米ドルベース)の所有権およびその他一切の権利は、S & P Dow Jones Indices LLC が有しています。S & P Dow Jones Indices LLC は、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。
 (注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
 (注4) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】
 期首：30,441円 期末：30,982円 騰落率：1.8%
 【基準価額の主な変動要因】

米国株式市況が上昇したことなどがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

◆投資環境について

○米国株式市況

米国株式市況は、米国の税制改革法案成立への期待や堅調な経済指標の発表などが支援材料となり、期首から2018年1月下旬にかけて上昇しました。その後、米国の雇用統計が市場予想を上回り米国金利が上昇したことで、市場のリスク回避姿勢が強まり、2月中旬にかけて調整しました。期末にかけては、米国の利上げペースや米中の貿易摩擦をめぐる動向などに左右されながら、一進一退の推移となりました。

○為替相場

米ドルは対円で下落しました。米国の税制改革法案成立への期待などから上昇する局面も見られましたが、米国長期金利の上昇を受けて株価が下落する中で市場のリスク回避姿勢が強まったことや、米中の貿易摩擦への懸念などが米ドル対円相場の下落要因となりました。

◆前期における「今後の運用方針」

外貨建資産の運用にあたっては、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーに運用の指図にかかる権限を委託し、今後の運用を行なってまいります。ボトムアップによる企業リサーチをもとに、財務内容が堅固であり、経営陣が有能で、長期的にキャッシュフロー成長が見込まれる企業の中から、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている銘柄に厳選投資していきます。引き続き、一時的な株価調整局面は企業の本源的価値に対して割安な水準で投資する機会と捉え、短期的な損益ではなく、長期投資のリターンを追求していきます。

◆ポートフォリオについて

当ファンドは、外貨建資産の運用にあたって、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーに運用の指図にかかる権限を委託しております。当期の株式組入比率は、おおむね90%以上の高位を維持しました。銘柄選択にあたって、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーでは、独自に算出する投資対象企業の本源的価値と比較して著しく割安な銘柄に厳選投資することを基本方針としています。財務内容が健全であり、経営陣の質が高く、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている企業に厳選投資しました。セクター別では、金融、一般消費財・サービスを高位で組み入れました。銘柄別では、HCA HEALTHCARE (ヘルスケア)、CHARTER COMMUNICATIONS (一般消費財・サービス)、ALPHABET (情報技術)などを高位で組み入れました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。当期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当期中の基準価額と市況の推移」をご参照ください。

《今後の運用方針》

外貨建資産の運用にあたっては、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーに運用の指図にかかる権限を委託し、今後の運用を行なってまいります。ボトムアップによる企業リサーチをもとに、財務内容が堅固であり、経営陣が有能で、長期的にキャッシュフロー成長が見込まれる企業の中から、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている銘柄に厳選投資していきます。引き続き、一時的な株価調整局面は企業の本源的価値に対して割安な水準で投資する機会と捉え、短期的な損益ではなく、長期投資のリターンを追求していきます。

ダイワ米国厳選株マザーファンド

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料 (株式)	5円 (5)
有価証券取引税 (株式)	0 (0)
その他費用 (保管費用) (その他)	3 (3) (0)
合 計	8

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注2) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

■主要な売買銘柄

株 式

(2017年11月29日から2018年5月28日まで)

銘 柄	当 期			期			
	買 付			売 付			
株 数	金 額	平均単価	株 数	金 額	平均単価		
千株	千円	円	千株	千円	円		
CHARTER COMMUNICATIONS INC-A (アメリカ)	13,454	470,821	34,994	BLUE BUFFALO PET PRODUCTS IN (アメリカ)	154,425	667,239	4,320
COMCAST CORP-CLASS A (アメリカ)	99,705	455,567	4,569	LAMB WESTON HOLDINGS INC (アメリカ)	49,865	331,527	6,648
HILTON WORLDWIDE HOLDINGS IN (アメリカ)	49,455	422,915	8,551	BAXTER INTERNATIONAL INC (アメリカ)	41,985	308,512	7,348
REGENERON PHARMACEUTICALS (アメリカ)	12,105	422,150	34,874	HCA HEALTHCARE INC (アメリカ)	25.95	275,736	10,625
AMERICAN INTERNATIONAL GROUP (アメリカ)	62.99	385,079	6,113	UNDER ARMOUR INC-CLASS C (アメリカ)	161.98	251,926	1,555
NATIONAL OILWELL VARCO INC (アメリカ)	94,415	378,850	4,012	BOOKING HOLDINGS INC (アメリカ)	0.8	182,800	228,500
ALPHABET INC-CL C (アメリカ)	2.5	290,600	116,240	CDW CORP/DE (アメリカ)	19.79	160,368	8,103
WELLS FARGO & CO (アメリカ)	26.97	181,471	6,728	WELLS FARGO & CO (アメリカ)	22.315	148,226	6,642
HCA HEALTHCARE INC (アメリカ)	18.72	179,880	9,608	CITIGROUP INC (アメリカ)	14.115	110,117	7,801
CITIGROUP INC (アメリカ)	19.65	166,595	8,478	CATERPILLAR INC (アメリカ)	6.065	105,862	17,454

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■売買および取引の状況

株 式

(2017年11月29日から2018年5月28日まで)

外国	株 数	買 付		売 付	
		金 額	株 数	金 額	株 数
アメリカ	6,775.24 (百株)	44,035 (千アメリカ・ドル)	5,939.5 (百株)	28,540 (千アメリカ・ドル)	

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) ()内は株式分割、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

外国株式

銘柄	期首		当期末		業種等	
	株数	株数	評価額			
			外貨建金額 千アメリカ・ドル	邦貨換算金額 千円		
(アメリカ)	百株	百株				
MOODY'S CORP	252.09	299.24	5,207	570,396	金融	
CITIGROUP INC	634.8	690.15	4,723	517,352	金融	
UNDER ARMOUR INC-CLASS C	1,394.15	—	—	—	一般消費・サービス	
CATERPILLAR INC	155.8	139.75	2,178	238,556	資本財・サービス	
CDW CORP/DE	378.45	297.65	2,401	263,062	情報技術	
HILTON WORLDWIDE HOLDINGS IN	—	482.1	3,945	432,098	一般消費・サービス	
COMMSCOPE HOLDING CO INC	836.35	992.8	2,940	322,091	情報技術	
HCA HEALTHCARE INC	627.7	555.4	5,758	630,776	ヘルスケア	
GENERAL ELECTRIC CO	1,692.3	2,008.85	2,938	321,902	資本財・サービス	
GENERAL MOTORS CO	945.25	1,122.05	4,297	470,699	一般消費・サービス	
ALPHABET INC-CL C	52	70.95	7,631	835,911	情報技術	
BLUE BUFFALO PET PRODUCTS IN	1,179.4	—	—	—	その他	
REGENERON PHARMACEUTICALS	—	116	3,407	373,210	ヘルスケア	
BOOKING HOLDINGS INC	22.24	21.14	4,461	488,706	一般消費・サービス	
CHARTER COMMUNICATIONS INC-A	147.45	264.19	7,138	781,870	一般消費・サービス	
CBRE GROUP INC - A	638.65	758.15	3,605	394,939	不動産	
IQVIA HOLDINGS INC	173.1	205.5	2,065	226,209	ヘルスケア	
WELLS FARGO & CO	872.2	918.75	5,043	552,462	金融	
ORACLE CORP	920.95	1,100.65	5,173	566,604	情報技術	
AMERICAN INTERNATIONAL GROUP	620.4	1,225.85	6,533	715,644	金融	
NATIONAL OILWELL VARCO INC	—	864.05	3,565	390,482	エネルギー	
BAXTER INTERNATIONAL INC	361.35	—	—	—	ヘルスケア	
CARMAX INC	473.8	562.4	3,783	414,442	一般消費・サービス	
LAMB WESTON HOLDINGS INC	380.9	—	—	—	生活必需品	
COMCAST CORP-CLASS A	—	899.45	2,855	312,790	一般消費・サービス	
ファンド	株数、金額	12,759.33	13,595.07	89,657	9,820,214	
合計	銘柄数<比率>	21銘柄	21銘柄		<93.6%>	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2018年5月28日現在

項目	当期末	
	評価額 千円	比率 %
株式	9,820,214	93.5
コール・ローン等、その他	679,039	6.5
投資信託財産総額	10,499,254	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、5月28日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝109.53円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産(10,310,553千円)の投資信託財産総額(10,499,254千円)に対する比率は、98.2%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2018年5月28日現在

項目	当期末
(A) 資産	10,499,254,082円
コール・ローン等	672,649,365
株式(評価額)	9,820,214,267
未取配当金	6,390,450
(B) 負債	10,008,791
未払解約金	10,000,000
その他未払費用	8,791
(C) 純資産総額(A-B)	10,489,245,291
元本	3,385,567,596
次期繰越損益金	7,103,677,695
(D) 受益権総口数	3,385,567,596口
1万口当り基準価額(C/D)	30,982円

* 期首における元本額は2,873,607,823円、当期中における追加設定元本額は1,159,336,707円、同解約元本額は647,376,934円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ米国厳選株ファンド -イーグルアイー Aコース(為替ヘッジあり)470,354,563円、ダイワ米国厳選株ファンド -イーグルアイー Bコース(為替ヘッジなし)1,322,944,452円、ダイワ米国厳選バリュー株ファンド(ダイワSMA専用)1,592,268,581円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は30,982円です。

ダイワ米国厳選株マザーファンド

■損益の状況

当期 自2017年11月29日 至2018年5月28日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	50,558,764円
受取配当金	49,964,736
受取利息	644,145
支払利息	△ 50,117
(B) 有価証券売買損益	5,936,473
売買益	853,515,995
売買損	△ 847,579,522
(C) その他費用	△ 913,411
(D) 当期損益金 (A + B + C)	55,581,826
(E) 前期繰越損益金	5,874,055,642
(F) 解約差損益金	△ 1,375,623,066
(G) 追加信託差損益金	2,549,663,293
(H) 合計 (D + E + F + G)	7,103,677,695
次期繰越損益金 (H)	7,103,677,695

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。